

給付型奨学金を創設し 学習機会の保障を

課題多く調査研究したい



久慈 年和
(市民連合クラブ)

議員 経済的に困難な家庭の子供たちに支給されている就学援助費の支給割合は平成二十五年度全国約十五・四%、県約十八・八%となっているが、当市の支給状況と割合は、**教育部長** 生活保護世帯を要保護、ひとり親家庭や生活保護に準じて生活が困窮している家庭等を準

要保護として、学用品、通学用品、校外活動、修学旅行、給食等に関する費用を支給しています。平成二十六年度は小学校四百五十四人、中学校三百四十五人で、全児童生徒の十六・二%、平成二十七年度は小学校四百五十九人、中学校三百二十五人で十六・五%です。

議員 奨学金の利用者と返済状況は。また、貸与ではなく給付型の制度にする考えは。

教育部長 平成二十七年の貸与者は新規・継続合わせて大学生が五十四名、高校生が三名です。現在返還の方は百十一名ですが平成二十六年年度決算では、返還計画より遅れている方は二十五名、六百五十八万三千円です。

教育部長 近年、返済に苦しむ方がふえ社会問題になっていますが、貸与の一部を給付型に変更することは多くの課題があることから、調査研究したいと考えています。

議員 森林伐採後に造林されない林地が七〇%もあり、荒廃している。県がことし二月に策定した「青森県森林・林業基本方針」に、再造林の取り組みを社会全体で支援する枠組みを構築し、森林所有者が意欲的に林業経営をできるように支援するところ、市の取り組みは。

農林部長 現在、市独自の支援策は実施していません。国、県では民有林野造林補助金として、事業者に対し事業費の六八%を補助していますので、この制度を活用して再造林への取り組みを促したいと考えています。



学習機会は平等に



石橋 義雄
(自民公明クラブ)

新庁舎建設着工時期は

平成二十九年年度から

建設工事に着工

議員 新庁舎建設に当たり、現在示されている工期で完成できるのか。また、財源確保の見通しは。

スケジュールや効果を勘案し調査を進めたいと考えています。

市長 平成二十八年度に実施設計業務、平成二十九年七月に工事着手、平成三十一年三月に新庁舎の工事を完了し、現庁舎の解体、外構整備等は平成三十一年度の事業完了を見込んでいます。総事業費は、基本構想で約三十八億円ですが、社会情勢により変動することもするため、経費圧縮に努め進めます。

議員 県へ要望した重点事業の達成に向け、どのような取り組みを行っていくのか。

市長 地元選出国会議員や県議会議員に働きかけるほか、ネットワークを活用し、どのように取り組めば効果的か工夫しながら、早期実現に向け要望活動を継続したいと考えています。

五年に一回近接目視で点検することとなり、安全かつ円滑な交通確保に努めたいと考えています。

総務部長 公共施設の長寿命化の実施方針や今後のあり方を定める公共施設等総合管理計画を平成二十八年度完成を目標し策定中です。整備等が必要な施設についてはこの方針に基づき、優先順位を決めて実施年度や事業費を定めていきたいと考えています。

企画財政部長 庁舎建設には補助金等は見込めないことから、合併特例債を活用します。これは財政負担の軽減効果が大きいこと、支払いを平準化できるなど非常に有利な財源です。庁舎本体のほか外構工事などもあることから、補助金等の財源確保は事業

議員 公共施設、市道、橋梁の補修、耐震診断等の取り組みと長寿命化について。

建設部長 道路施設等のパトロールを行い、計画的に改築や補修に努めています。橋梁は平成二十六年三月の道路法改正により、



建かえ予定の市役所本館